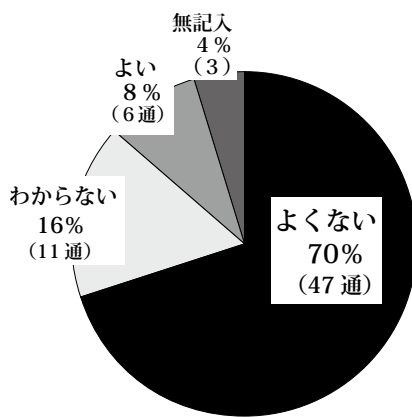


## 「認定こども園(幼・保)と小・中学校施設の一体化」に7割が反対

- 1、栗山町政は、「認定こども園(幼・保)と小中学校施設の一体化」を掲げ、小・中学校の敷地に現在の認定こども園(幼・保)を移転させることを検討し、「一体型にすることで連続した教育が可能」としていますが、どう思いますか



(田尻町教育委員会の資料から)

### みなさんのご意見は…

「よい」との回答は「中学校は別の場所に移転」が前提、「屋上に運動場やプール」。「よくない」の意見の多くは「運動場をこれ以上狭くしないで」「移転させるほどの距離でもない」「一体型にせずとも一貫教育はできる」「築20年建替えるのは早すぎます」「インフルなどの感染面でも広がりやすくなる」「現在、立派なエンゼルの施設、スペースも確保されている」「わからない」の回答は、「連続した教育が可能とは？具体的に知りたい」などです。

### (5) 今後の検討事項

#### ①認定こども園と小中学校の施設一体について

小中学校の施設一体型は全国に事例はありますが、未就学児を含んだ事例は少なく、全国的にも珍しい取り組みです。

一体型にすることでより連続した教育が可能となり、異年齢の子どもたちが交流することでさまざまな成長がみられますが、事例が少なく、今後はそれぞれの年齢の視点に立った比較検討が必要となります。

第28回「私の願い聞いてよ」町民アンケート(10月22日～11月9日)

回答の3割が20～40歳代、全部で67通のご回答

栗山町政が認定こども園(幼保)を小中学校敷地に移転させる検討事項を発表したことについて、共産党議員団は、10月22日付「たじり民報」で町民アンケートを設定し、今月10日までに返信を求めたところ、9日現在で67通のご回答をい

いただきました。回答者の特徴は、教育施設のあり方を問う設問なので、20代から40代のご回答が34%をしめ、全体では「よくない」の回答が7割をしめたことです。